



平成 31 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 大庄
 代表者名 代表取締役社長 平 了寿
 (コード : 9979 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役管理本部長 野間 信護
 (TEL. 03-5764-2229)

**第 2 四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正
 並びに特別損失の計上に関するお知らせ**

平成 30 年 10 月 15 日に公表した平成 31 年 8 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想の修正及び特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異及び修正について

(1) 第 2 四半期累計期間連結業績予想値との差異 (平成 30 年 9 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日) (単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	31,100	250	220	50	2 円 42 銭
実績値 (B)	30,478	251	266	△94	△4 円 56 銭
増減額 (B-A)	△622	1	46	△144	—
増減率 (%)	△2.0	0.4	20.9	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 8 月期第 2 四半期)	30,627	81	81	△257	△12 円 45 銭

(2) 通期連結業績予想の修正 (平成 30 年 9 月 1 日～平成 31 年 8 月 31 日) (単位 : 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	62,500	950	950	250	12 円 09 銭
今回修正予想 (B)	61,530	805	820	70	3 円 38 銭
増減額 (B-A)	△970	△145	△130	△180	—
増減率 (%)	△1.6	△15.3	△13.7	△72.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 8 月期)	61,503	406	393	202	9 円 78 銭

2. 業績予想との差異及び修正の理由

(1) 第 2 四半期連結業績予想値との差異の理由

売上高につきましては、飲食事業において、既存店舗の売上高が一部計画を下回ったことや、新店・改装店舗の開店・改装時期のずれなどによる売上高減少等の影響で、前回予想を下回りました。営業利益につきましては、売上高減少により売上総利益額は減少したものの、販売費及び一般管理費が減少したこと等により、僅かながら前回予想を上回りました。経常利益につきましては、営業外費用が想定より減少したこと等により、前回予想を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、減損損失など特別損失の計上が計画以上に増加したこともあり、前回予想を下回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

通期につきましては、第2四半期累計期間の業績を考慮するとともに、近況の店舗出店状況、及び売上高や経費の動向などを勘案した結果、前回予想を修正することといたしました。

なお、平成31年8月期の配当につきましては、当初の公表計画通り1株当たり14円（中間6円、期末8円）を予定しております。

3. 特別損失の計上

当社は、平成31年8月期第2四半期連結累計期間において271百万円の特別損失を計上いたします。

詳細は下記の通りです。

①減損損失 147百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

②固定資産除却損 107百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

③その他 16百万円

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上